



最優秀賞を受賞しました！！

11月1日(土)・2日(日)、第54回上山田文化祭「第35回ふれあいのど自慢」が上山田文化会館で盛大に開催されました。

22組24名の方が出場し、思い思いの歌声が響き、会場は大きな拍手と笑顔に包まれました。歌を通して地域の絆が深まるひとときとなりました。

特集 文化祭を開催！

《主な掲載記事》

- 特集 文化祭を開催！…… 2～3
(上山田・更埴地区)
- 各館の活動報告…… 4～6
- リレーエッセイ…… 7
- もっと知りたいふるさと…… 8
(屋代地区)

文化祭

第54回
上山田文化祭

上山田文化祭実行委員会主催の上山田文化祭が11月1日(土)、2日(日)に開催されました。展示発表では24の個人・団体で約400点の出演、舞台発表では21団体が出演され、青空市・茶道教室・図書リサイクルコーナーなど大勢の方々が足を運ばれ、おおいに盛り上がりしました。

また、「ふれあいのど自慢」では、各支分館代表・公募参加の皆さんが日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。

今年で54回目を迎えた上山田文化祭は「みんなが主役・みんなで創ろう」をテーマに地域の皆さんが集う一大イベントとなりました。



今のお気持ちは？



仲良し2人組。手作りの衣装で！



ギター片手に大熱演！

のど自慢



特産品がずらり！



無病息災を願いました

青空市



また来年お会いしましょう！！



侘び・寂びの心を感じるひととき

茶道



世界に1つしかない
松代焼の茶わん



色とりどりの
手作りプラ板キーホルダー



書の力作を
堪能しています

展示発表



会場みんなでヨガのポーズ！！



なつかしい童謡を
きれいな歌声で響かせました



手話でアンパンマンを歌いました！

舞台発表

特集

第23回

更埴地区文化祭

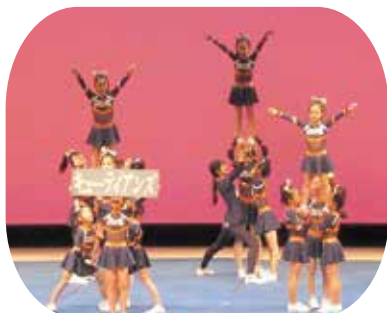


屋代・埴生・稲荷山・八幡の4公民館主催による更埴地区文化祭が11月8日（土）・9日（日）に信州の幸あんずホール（更埴文化会館）で開催されました。

展示発表では、公民館の各講座やサークル活動で学んだ15団体の成果として、約300点が出展されました。

舞台発表では、16団体が出演し、見事な踊りや演奏が、また2階会場では、謡曲と茶道が行われました。

昨年は会場の改修工事で開催できませんでしたでしたが、今回2日間にわたり多くの市民に参加いただき、賑やかで楽しい文化祭となりました。



元気いっぱいのチアリーダー



見事な大正琴の演奏



みんなノッてるかい！



力強い太鼓演奏



詩吟と詩舞での「信濃八景」



優雅な社交ダンス

舞台発表



見事な木彫り作品



季節の彩りを感じる絵てがみ

展示発表



お茶のおもてなし

茶道



謡曲の美声が響きます

謡曲

各館の活動報告

屋代公民館

分館対抗野球大会

屋代公民館副館長

近藤 吉徳

10月26日(日)、伝統ある屋代公民館野球大会が開催されました。

野球は、前日に選手と分館役員でライン引きなどグラウンドを整備しましたが、残念ながら前夜からの降雨で中止となりました。

ソフトバレーボールは、屋代中学校体育館を会場として、どの試合も熱戦が繰り広げられました。



大白熱の決勝戦の様子



大会三連覇!! 屋代第3分館

●ソフトバレーボール(第55回)

優勝 屋代第3分館
準優勝 雨宮分館
3位 屋代第5分館
土口分館

殖生公民館

優勝!小島分館

小島分館 林 宏一郎

令和7年度の殖生地区市民運動会は、ボッチャ大会として9月28日(日)に殖生小学校体育館で開催され、殖生地区の8つの分館からそれぞれ2チームが参加し、熱戦が繰り上げられました。

予選は4つのブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出します。



ジャックボールめがけていざ投球

小島分館からは、小学生4人を含む幅広い年齢層から12人の選手が集まっていた。2チームが参加しました。さて、ボッチャ大会の結果ですが、昨年は小島は2チームとも予選で敗退していたため、まずは1勝を目標としていました。しかし、今年の予選は小島Bチームが3戦全勝し、1位で通過しました。続く決勝トーナメントでは、準々決勝、準決勝、決勝と、予選からの6戦全てに勝利し、見事優勝を飾ることができました。

初めてボッチャを体験した方もいる中での優勝は、とても意義深いものだと感じました。競技の中でスーパージョットが決まると、「ナイスボッチャ!」といった独特のかけ声が飛び交い、会場は大いに盛り上がりました。選手の皆さん、関係者の皆さん、大変お疲れさまでした。



優勝した小島分館のみなさん

殖生公民館

上高地ハイキングに参加して

寂時分館 宮崎 里恵子

10月19日(日)、夫と一緒に上高地ハイキングに参加しました。碧く澄んだ梓川と自然



穂高連峰をバックに記念撮影



穂高神社奥宮の鳥居

が作り出す美しさに魅せられて以来、上高地が大好きな場所になった私には6年ぶりの再訪。今回は、河童橋から明神池と穂高神社奥宮を目指しました。

天気が心配された当日、少し暖かめの重ね着とトレッキングシューズに、熊よけの鈴で準備は万端。バスでの道中は、古びたトンネルにテーマパークのアトラクションのような高揚感を覚えました。バスを降りると思ったより寒くなく、空にはわずかに晴れ間も。河童橋と穂高連峰を背に記念撮影をして出発です。

梓川左岸のなだらかな道を、雄大な山々と足元の花崗岩、楓の彩りに秋の上高地を感じつつ、1時間ほど歩いて、少し疲れ始めた頃合いで明神橋に到着しました。

橋を渡り、いよいよ奥宮へ。境内を人の流れに身を任せるように進むと、その先に現れた明神池と明神岳。薄曇りの中、凛として神聖な眼前の景

色にさまざまな想いを馳せながら列に並び、栈橋へと進みました。栈橋の途中、静かに空気が変わった気がしました。

河童橋への復路は右岸を行きました。アップダウンのある、木々やササのしつとりとした山の中を、川のせせらぎに癒されて歩を進めました。

岳沢湿原など場面ごとのさまざまな景色が、終始私たちの目を楽しませてくれていました。そして、戻った河童橋から仰いだ穂高連峰は、そこにだけ射した陽光を受け青空に輝いていて、最後に最高の思い出をもらえたようでした。

今回の上高地は、少し神秘的で美しく、素敵な一日でした。このような機会をいただき心より感謝申し上げます。

稲荷山公民館

稲公交流スポーツ大会に参加して

上八日町分館 佐々木 厚子

10月5日(日)、私は今回孫たちと一緒に稲公交流スポーツ大会に参加しました。5つの競技に挑戦し、年齢や経験をこえて多くの方と楽しい時間を過ごすことができました。

※1 最初のカラーリングでは、力加減と方向のバランスを工



優勝した「マークン」チーム

夫しながら投げ、得点を重ねました。

※2 続くストラックアウトでも狙い通りに的を倒すことができました。

一方、ボッチャでは思うようにボールを寄せられず苦戦しました。しかし、最後のフリースローとスマイルボウリングでは、チーム全員が安定した投球を見せ、得点を伸ばすことに成功しました。

結果は見事優勝。チーム名「マークン」として、一体感を持って取り組めたことが何よりの喜びです。

今回の経験を通して、孫たちと協力する楽しさと、スポーツの奥深さを改めて感じました。

※1 氷上で行われるカーリングに似たニュースポーツ的(パネル)に向かってボールを投げ得点を競うゲーム

※2 ボウリングをアレンジした軽スポーツで、投球位置からゲートを通過させ、10本のピンを倒すゲーム

※3

八幡公民館

ボッチャ大会優勝

中原分館 小野 泰司

10月19日(日)、八幡小学校体育館において、分館対抗ボッチャ大会が開催されました。

当日は、前日の夜からの雨で肌寒いスタートでしたが、いざ、ゲームが始まると、熱気と興奮で、それを忘れる程となりました。

ボッチャの簡単なルール説明は、基準となる白いボールに、相手チームより自分のチームのボールを近づけて得点を競う競技です。

私たち中原分館チームは、ゲームが進むにつれ、コツを覚え、また、運も味方につけ、予選リーグを負けなしの3戦全勝で決勝リーグに進みました。

最大のピンチだった、準々決勝の新宿分館チームに、ほぼ負けの状態から逆転勝ちして、その勢いで優勝することができました。ここ数年は分館対抗行事では優勝はありませんでしたので、明るい話題となり、中原分館一同感謝しております。

当日は、各地区の選手や、関係者の皆さん、大変お疲れさまでした。

八幡公民館

人形と並んで記念写真

10月23日(木)、八幡公民館いきいき学級市外研修「どこへ行くかはお楽しみ!!」のわくわくミステリーツアーで「高野辰之記念館」と「高橋まゆみ人形館」へ行きました。参加者は、テレビで流れる



人形と並んで！

優勝！中原分館！！



天気予報で見たことのある本当に生きているような人形に見入っていました。

戸倉公民館

戸倉運動会を初の体育館で開催！

内川分館長 梨本 幸男

10月5日(日)、第61回戸倉運動会が行われました。

今年は、会場を戸倉体育館に移して、初の屋内での運動会となりました。まず良い点は、天候に左右されない点です。苦勞して選手集めをして準備しても、雨で中止となれば大変残念ですが、屋内ならその心配はありません。

一方で、体育館の中は参加者であふれ、まさに密の状態でした。感染症の流行による中止のリスクはあるものの、屋内でも屋外でも心配な点と言えます。



恒例競技の「幾山河」(障害物リレー競争)



頭の体操にもなるモルック

今回は4種類の競技とボッチャとモルックの体験会という内容でした。規模は縮小したものの、大変工夫され、よく準備された競技は、とても楽しく参加できました。また体験会では、皆で和やかにゲームを楽しむ雰囲気となり、とても良い時間が流れていました。こういうのも良いなと思いました。

運動会の準備、運営に当たった皆さん、参加者の皆さんに心より感謝致します。

上山田公民館

運動会は「年の差無礼講」

八坂分館 竹内 孝

9月28日(日)、第23回上山田地区市民運動会が開催されました。天候にも恵まれ初秋の爽やかな風が感じられ、まさに運動会日和になりました。大会前の準備体操だけで

運動もしない私は若干の汗、それとこんなにも体が固くなっているんだと実感させられました。

今年は選手宣誓をするという事で、役員会で子どもたちでも良いのではないかとという提案になり、子どもたちからも「やりたい」との声もあつて選手宣誓をしてもらいました。子どもたちにとっても良い思い出になったのではないかと思います。

競技中は「ママがんばれ！」の声援など、応援の声がひっきりなしに飛び交いました。また、小学生リレーでは学年を問わなかったため、高学年の中に背の低い低学年が最後尾でも負けまいと一生懸命に走る姿が心に残りました。60歳以上の選手は競技を終えて戻ってくると、あちこちの体の不調を言いつつも、汗をかいた顔はいきいきとしていました。



子どもたちの選手宣誓



優勝した八坂分館のみなさん

大会順位も途中までボードに出ていたのですが、最終結果は発表までわからず、なんと「1位は八坂」と聞いた瞬間、みんなで飛び上がって喜びを表しました。

世代を超えてのコミュニケーションを図れる有意義な場として、長く大切に残していきたいと感じました。

優勝 八坂分館
準優勝 中央分館
3位 新山分館

屋代公民館

屋代中学生の皆さんのお手伝い作業

屋代公民館主事

神尾 弘晃

屋代公民館の玄関にベンチが設置されました。

製作にあたっては、屋代中学校が「総合的な学習」で取り組んでいる「YCP」(屋代チャレンジプロジェクト)のグループのひとつ「地域のヒーローアンパンマン!!」に所属する20人の生徒の皆さんにお手伝いいただきました。このグループは、「アンパンマンのように困っている人を助けよう!」をテーマに活動しています。

7月11日(金)、屋代公民館で暑い中懸命に作業してもらいました。

ベンチの材料は、市有林(アカマツ)の松くい虫被害木を使っています。作業前に、当館荒井館長から、「売り物にならない木でも有効活用することが、森を守ることにつながる」という話があり、森林整備の大切さを学びました。木材のやすりがけには多くの時間と手間がかかるのでどうしようかと困っていたら、ス



ベンチの座り心地はいかが？



一生懸命紙やすりをかけます

テキなアンパンマンたちが助けてくれました！
ありがとう！アンパンマン！

戸倉・上山田公民館

トークフォーカダンス

11月10日(月)、戸倉上山田中学校で開催しました。中学1年生全員と地域の方129人が輪になり、世代を超えて楽しく語り合いました。温かな雰囲気の中、心つながるひとときとなりました。



地域の方と楽しく交流しました

私と犬

稲荷山 上條 優



昭和38年ころ、千曲橋の堤防から下って北へ、しばらく家並みが続く150坪ほどで我が家がある。我が家から北は家がまばらで桑畑が広がっている。

た。野高場地区。河川敷への捨て犬や捨て猫があったせいか、野良犬や野良猫が結構いた。

ある朝、保育園に行こうと家を出たところで、野良犬に足をかまれた。気が付くと家の居間。足には包帯が巻かれていた。医者に行つて処置をしてもらったようだが記憶はない。

そしてその時から、私は犬が苦手というか嫌いになった



昭和30年ころの稲荷山小学校付近
（「写真でつづるふる里のむかし」から）

（ちなみに干支は戌年）。昔は野良犬に加えて、飼う犬でも離し飼いでいる家があり、犬が町なかでウロウロしていたので、道端で犬と遭遇するのが怖かった。ほとんどは、犬のほうから逃げて行ったが、たまには「シートッ!」と言って追



昭和30年ころの町の様子
（「写真でつづるふる里のむかし」から）

い払うこともあった。犬は番犬としての役割が多く、ほとんどは玄関先や庭で飼っていた。通知配りや用事で訪ねるときは、「犬がいないうちに」とドキドキしながら訪ねた。ほとんどの犬は人が来るとほえた。番犬なのでほえるのがあたりまえ？犬がいると分かっている家へは、覚悟を決めて行つても、もの凄い勢いでほえられ、かなりの恐怖を味わった。犬の苦手意識は大人になっても変わらなかった。そもそも、『犬』をかわいいと思つたことはほとんどなかった。散歩中の飼い主同士が、「か

わいい」と言つてなでている様子をよく見かけるけれど、そんな犬も、すれ違う時に、他の人にはほえないのに私にはほえる場合が多々あった。意識せずに通り過ぎようとしても、「犬嫌いオーラ」が出ているのか、犬には「こいつは俺（犬）が嫌いなんだな」と動物の本能で見破られていた。

時代が変わり現在

は、外で飼われている犬はほとんど見られなくなった。番犬としての役割から家族の一員として家の中で大事に飼われている。犬の種類も多くなり、小型犬が多くなった。今は、家を訪ねる時、犬を警戒することもなく、私の犬への苦手意識もだんだんなくなつてつあり、かわいいと思うことも多くなつてきた。「犬嫌いオーラ」も出なくなつた分、すれ違う際にほえられることもほとんどなくなつてきた。愛されるには、愛すること！犬の完全克服はもう少し。



問い合わせ先

戸倉公民館
（令和7年度成人式当番館）
TEL 026・275・1490
または、最寄りの公民館まで。

成人対象者

平成17年4月2日から平成18年4月1日の間に生まれた市内に住所がある人と、市内の小学校または中学校に在籍した人です。

会場

信州の幸あみずホール
（更埴文化会館）

日時

令和8年1月11日（日）

受付 午後12時50分
～午後1時20分

・式典 午後1時30分～

令和7年度
千曲市成人式
のお知らせ

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたい

ふるさと

107

姿を現した古墳時代の王の館

姿を現した王の館

4基の前方後円墳は、森將軍塚・有明山將軍塚・倉科將軍塚・土口將軍塚の石室を全部調べた。集落も水田もたくさん掘って範囲もわかった。あとは王様のお屋敷だけだな…。

職場の上司と冗談混じりに交わっていた会話である。

明確なモニユメントとしてつくられた古墳と異なり、建物は廃絶すると土の中に埋もれてしまう。広い屋代田んぼの一角で見つかるはずがないと思っていた。

ところが、令和7年2月、市道一重山2号線建設にともなう発掘調査で、巨大な溝に囲まれた古墳時代の建物跡が発見された。

溝の総延長は70㍎、最大幅7.5㍎を測る。途中で直角に折れ曲がり、川の跡でないことは明らかであった。溝の内側には、深く細長い溝（溝B）が掘削されていた。板塀を立てた跡であろう。その内側には複数の柱の穴が並んでいた。4棟以上の掘立柱建物が建っていたとみられる。

ひとまず「大型溝区画遺構」という、仮の名称を与えたが、

こうした特徴は、我が国で見つかっている王や有力豪族の館のそれと見事に合致していた。

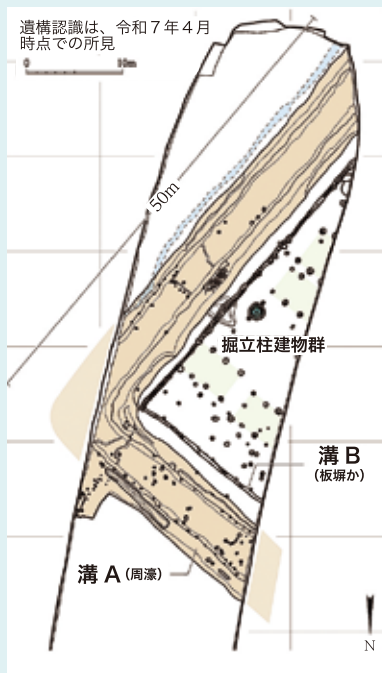
冗談は現実が変わった。

王はどこに住んでいたか

古墳時代の研究において、

王がどこに住んでいたのかは、重要な問題である。生前の本拠地からはるか遠い場所に古墳をつくったとすれば、古墳の分布や当時の権力の在り方を考えるという前提が成り立たなくなるからである。

ヤマト王権の中枢部でも、仁徳天皇陵や応神天皇陵といった巨大古墳は大阪湾の近



平面図



発見された王の館
背後に森將軍塚古墳を望む

くに築造されている。一方、大王の住まいについては、『日本書紀』に奈良盆地の東南部に構えたと書かれている。

さいわいにも見つかった遺構は、森將軍塚古墳と倉科將軍塚古墳のどちらも仰ぎ見ることができ「ほどこい」場所に位置している。

解決すべき課題は多いが、出土した土器の年代から考え、どちらかの古墳に葬られた王が生前暮らししていた館にふさわしい。

古代空間を追体験する

晩秋の朝、森將軍塚古墳か

編集後記

10・11月は各所で運動会や文化祭が行われた。1年間の集大成にさぞかし緊張しただろう。

「分断社会」と言われている今日、「格差」「貧困」「不寛容化」等々、自己中心主義が蔓延している中で、これらの行事では皆と協力し合い、仲良く目標に向かっていく姿が映し出され、多少の失敗もカバーし合い、温かな声援があふれていた。

仏典に「輪陀王と白馬の故事」がある。輪陀王は白馬のいななきを聞くことで自身の

ら善光寺平を眺める。稲刈りを終えた水田、自然堤防に広がる屋代や雨宮の集落、曲流する千曲川、それらを見下ろす山上の王墓…。

古墳時代を追体験できる空間構成は、古墳と地域社会との関係を考える最高のフィールドとして、多くの研究が行われてきた。

そこに加わった王の館の跡。次世代の考古学研究者に手渡す引継書はまた厚くなった。

千曲市歴史文化財センター
学芸員 平林 大樹

生命力を高め、国の営みが栄え、人々から尊敬を集めていた。この白馬は、白鳥を見ていないでいた。ある日、白鳥が1羽もいなくなった。

そのため白馬も元気が無くなり気候も不順となった。飢餓、疫病が起り、他国からの侵略が始まった。そこに馬鳴菩薩が現れ、仏に祈ったところ、たちまち白鳥が現れ、白馬も喜び、輪陀王が元気になる、国が安穩になった。私たちは、あらゆる人々に支えられていることを自覚したい。
(八幡 K)